



連続式真空検査機

MJ1-3000

ビン内部の真空圧の検査は目視、打検?それともキャップに
穴を開けての抜取検査?IKEDAの真空検査機で全数確認



特長

- 真空キャッピング後のビン内部真空圧をインラインで検査します
- オプションの自動振分装置との連結で検査工程の無人化を構築
- キャップに穴、傷をつけずに検査します
- 誰でも簡単に真空圧の確認ができますので全数確認可能です
- ボタンひとつで品種換えできます

処理量(1時間当たり)

3,000個

従来のビン内部の真空圧の検査は
五感に頼り、熟練の技術とノウハウを必要とします。

**これからの真空検査は
機械での全数チェックが常識!!**

抜取検査は・・・

真空検査機でキャップ
天面に穴を開けて
測定します



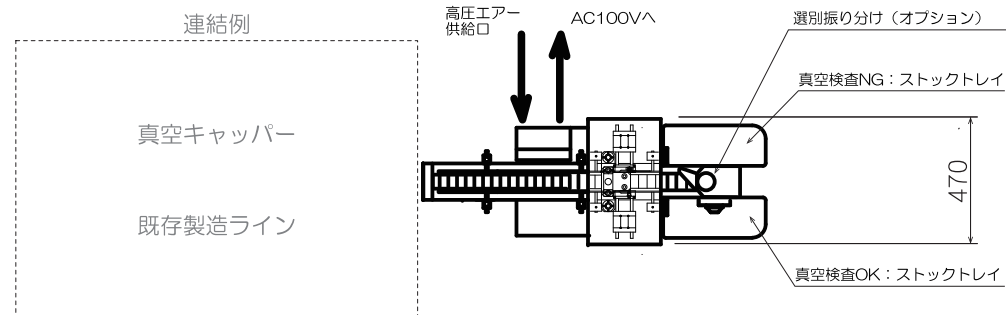
※予告なく仕様を変更する場合があります



池田機械工業株式会社



〒999-3102 山形県上山市新金谷50-2
TEL.023-695-6001 FAX.023-695-6002
<https://www.ikedakikai.co.jp>



諸 元 表	
能 力	3,000個/時間
材 質	本体 SUS304 (一部 A5052)
本体寸法	1,270W × 470D × 1,200H
動 力	AC100V 300W 高圧エア-必要 常時0.5MPa 70L/min以上
測定真空圧	0 ~ -80kPa
適用ビン寸法	外径 φ40~φ80 高さ 50mm~100mm
機械重量	約 120kg

